

# 放課後子ども教室の活動を紹介します。

放課後子ども教室は、下仁田小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の協力を得て、放課後等に子どもたちが安心して活動できる場を提供する事業です。

今年の4月から実施している放課後子ども教室は開始から4ヶ月が経過、夏休み期間には体験型事業も取り入れた「サマースクール」を実施しました。今回はこれらの活動の様子を紹介します。

	平日	サマースクール
活動日時	火曜～金曜 15:00～16:10	月曜～金曜 9:40～11:30
活動内容	・宿題等の学習支援 ・遊び ・学年の異なる子どもたちや地域の大人との交流	・体験活動や講座 ・学年の異なる子どもたちや地域の大人、ALTとの交流
登録数	36名	37名



放課後のようす

サマースクールで子どもたちはこんな体験をしました。ほんの一部ですが写真で紹介します。



絵画体験



川遊び・川原の石観察



荒船登山体験



サバイバル体験



卓球教室



そば打ち体験



フォークダンス体験



書道体験



ウクレレ教室

その他、講座「正しい手の洗い方」「自由研究の進め方」「読書感想文をスラスラと書くコツ」「最新の宇宙観」、体験「大学生と遊ぼう」など実施しました。参加した延べ231名の子どもたちは普段できない貴重な体験をすることで自ら学び自ら考える力「生きる力」を育みました。町内外から延べ46名の講師の皆様、ボランティアを含め延べ91名のスタッフ、また活動によっては保護者の皆様にも参加していただき、更に、子どもたちのためにご協力いただいた多くの皆様に紙面を借りて御礼申し上げます。



「支えあい、助け合う」

下仁田小学校 六年 黒澤 菜月

私は劇と紙芝居を見ました。私が劇を見て一番気に入った所は、おばあさんが踊るとき音楽です。その音楽は見ている人もとても楽しめる音楽なので気に入りました。

紙芝居は、とても悲しいお話でした。その紙芝居を聞いてわたしは思いました。「お母さんは子どもの心配をして、子どもを大切にしているんだな」改めて知りました。それで私は「誰よりも家族を大切にすることを決めました。その心を忘れずにこれからもいろいろな事をがんばっていききたいです。次に大事な人は友達です。友達は私やみんなを笑顔にしてくれます。私はとても感謝します。私も友達に負けずに笑顔にしていきたいと思えます。これからも仲良くしていきたいと思えます。」

次は「いじめ」という問題です。私は「いじめ」という文字も見たくないし、私自身も絶対にやりたくありません。もし、私の身の回りで行われていたり仲間外れにされている人がいたら一刻も早く助けたいです。よく「自分がされていやな事は絶対にとにやるな」という言葉を聞きますが、それは本当です。いじめの中でも色々な種類があります。例えば「差別ごっこ」や「仲間はずれ」はまだまだ色々あります。だけれど本当に「いじめ」はよくないのです。もしいじめをやった方は、やられた方の気持ちを大切にしようと思いました。

次は「行動」です。先生達がよく「あいさつは大きな声でしあいましよう」と言っています。私は高学年としてあいさつを大きな声でします。あとは学校のろうかを走っている人がいたら「だめだよ」と声をかけたいです。私たち6年生がそうじで班

長をしています。そうじもその一種です。私たちが班長として低学年を引っ張っていつて手本を見せたいです。朝、学校に来ているとちゅうで先生が何人かいるので大きな声であいさつをしたいです。低学年に尊敬される先輩になっていきたいです。私はこのように人権について書いてきて人権はとていいことだと思いました。最後は「男女」です。私たちはチームや班を作るときは女子だけになって男子は一人も入っていません。これからは一人でも多く男子が入れるように自分から声をかけたいです。あとは、この6年1組の友情をもっと深めたいです。これからは、男女かけなくどんどん話しかけていきたいです。

もうこのクラスの全員と同じクラスになることはないです。このしゅんかんを大切に過ごしていきたいです。私はこの作文に書いたことを、これからきちんと守って生活していきたいです。



「おはよう」の二言で広がるなかよしの輪

下仁田小学校 2年 岡田 尚幸



気に掛けて声かけ合って、みんな笑顔の仲間だよ。

下仁田小学校 3年 飯野 夏海



みのがすな。

こそこそヒソヒソいじめだよ。

下仁田小学校 2年 板垣 花歩